

日本で受けられる新型コロナウイルスのワクチンについて

ファイザー社（アメリカ）のワクチン

mRNAワクチン

コロナにかかりにくくなるタンパク質を体で作る遺伝子情報「mRNA」を打ちます。

1回目から21日後から2回目を受けます。

効果は95%といわれています（2021年5月）

モデルナ社（アメリカ）のワクチン

mRNAワクチン

コロナにかかりにくくなるタンパク質を体で作る遺伝子情報「mRNA」を打ちます。

1回目から28日後から2回目を受けます。

効果は94%といわれています（2021年5月）

アストラゼネカ社（イギリス）のワクチン

ウイルスベクターワクチン

無害なコロナウイルスを打ち、コロナにかかりにくくなるタンパク質を体で作ります。

1回目から28日後から2回目を受けます。

効果は76%といわれています（2021年5月）

現時点で、どのワクチンを受けるかを選ぶことはできません。コロナを予防するために、受けられるワクチンがあれば、早く打てるワクチンから案内をすることになります。

ワクチンの副反応を心配してワクチン接種を「受ける」「受けない」は自由です。強制的に打つことはありません。

ただワクチンを受けない人は、今の状況と同じで出勤時の体温検査や外出制限などコロナから健康を守る行動が、受けた人よりは厳しくなります。組合は実習生の安全のためにワクチン接種を推奨します。

ワクチンを受けた人も、体温検査や外出規制が「0」になるわけではありません。

ワクチンの副反応

注射したところの痛みや腫れ、身体のだるさ、頭痛、筋肉痛などが出ると報告があります。アナフィラキシーなどのアレルギー反応が稀にでることもあります。

接種時には同意書に本人のサインが必要です。その同意書をよく読み（翻訳文準備します）、心配な点は事前に指導員さんに報告してください。